

●病床数が 450 床に増床

うわまち病院から 33 床増床し、450 床の病床を有します。
450 床の内訳としては、救命救急センター30 床（うち SCU6 床）、特定集中治療室（ICU）12 床、周産期母子医療センターとして NICU6 床、GCU6 床などを有します。
また重症患者さんを治療する病床は個室化されており、感染対策を考慮したものとなっています。

●標榜診療科が 28 科から 34 科へ

内科、腎臓内科、血液内科（追加）、糖尿病・内分泌・代謝内科（追加）、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、消化器外科、乳腺外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、耳鼻いんこう科、眼科、放射線科、麻酔科、アレルギー科（追加）、リウマチ科（追加）リハビリテーション科、救急科、病理診断科、歯科（追加）、歯科口腔外科（追加）

●化学療法室 19 床を整備

外来患者さん向けの化学療法室 19 床を有し、抗がん剤治療を提供する体制が充実します。

●血液浄化室 20 床を整備

透析が必要な患者さん向けに血液浄化室 20 室を有し、うち 3 室は個室となっています。

●手術室が5室から 10 室に大幅増室

うわまち病院の 5 室の手術室から 10 室に大幅に増室しています。
またハイブリッド手術室 2 室を有します。

●特定集中治療室（ICU）を 全個室化

感染対策の観点から特定集中治療室（ICU）12 床は全個室化し、うち 2 室は陰陽圧切替個室となっています。

各階の概要（免震構造）

R 階 ヘリポート

- ・救急患者さんの迅速な搬送に対応するために、ヘリポートを設置し、大規模災害時にも力を発揮します。

7 階 機械室 | 電気室

- ・騒音に配慮し、遮音壁としています。
- ・主要な電気・機械設備を、浸水のおそれがない7階に設置しています。

6 階 回復期リハビリテーション病棟 | 感染症病棟 | レストラン | 管理部門 | リハビリテーション室

- ・第二種感染症指定医療機関として感染症病床6床を有しています。
- ・来院者、スタッフが利用できるレストランを有しています。

5 階 一般病棟（4 病棟）

- ・4階及び5階の病棟間の個室エリアは病床可変エリアとし、病床の増減に対応しやすくなっています。

4 階 一般病棟（2 病棟）| 産科・混合病棟 | 分娩室 | 小児病棟 | NICU（新生児集中治療室） | GCU（新生児治療回復室）

- ・分娩室は、緊急分娩の患者さんを救急用エレベーターにて搬送できます。
- ・NICU には救急用エレベーターからの搬送ルートを確認しています。

3 階 手術室 | 集中治療室（ICU・EICU・HCU・SCU） | 中央材料室 | 血管造影室 | 臨床工学室 | 管理部門 | 医局

- ・手術室を 10 室有します。
- ・感染対策上、ICU、EICU は、全てを個室としています。

2 階 外来部門 | 健診センター | 化学療法室 | 血液浄化室 | 臨床検査室 | 管理部門 | 院内保育

- ・外来部門と臨床検査室を近くに配置し、外来患者さんの移動を最小化しています。

1 階 救急外来 | 医事課 | 薬剤部門 | 栄養部門 | 内視鏡部門 | 防災センター | 核医学部門 | 放射線診療部門 | リニアック棟 | コンビニ

- ・救急外来と放射線診療部門を隣接配置しています。

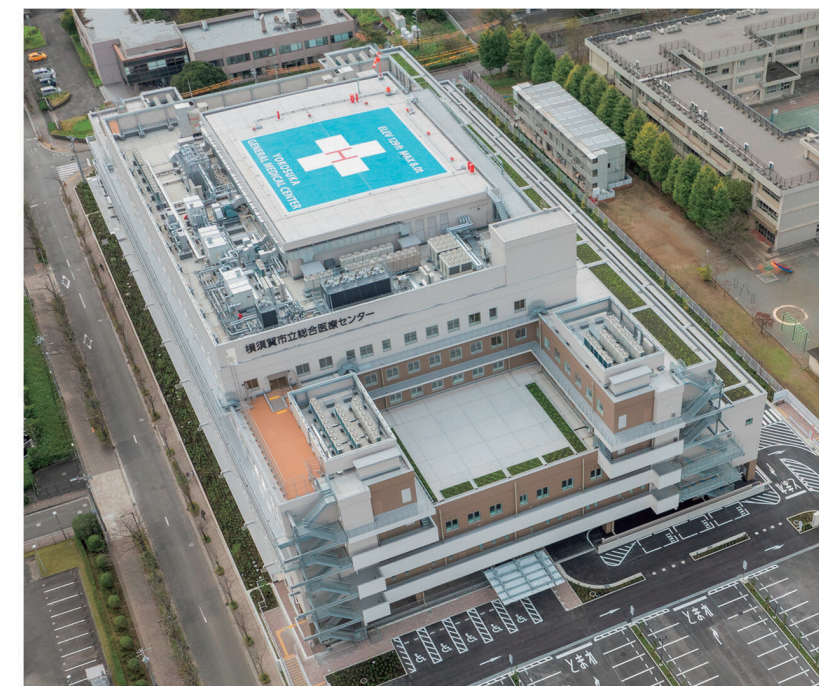
令和 7 年 3 月 1 日 横須賀市立総合医療センターが いよいよ開院します



横須賀市立うわまち病院は令和 7 年 3 月 1 日に久里浜 神明公園へ移転し、横須賀市立総合医療センター（英語名：Yokosuka General Medical Center）として新たな一歩を踏み出します。

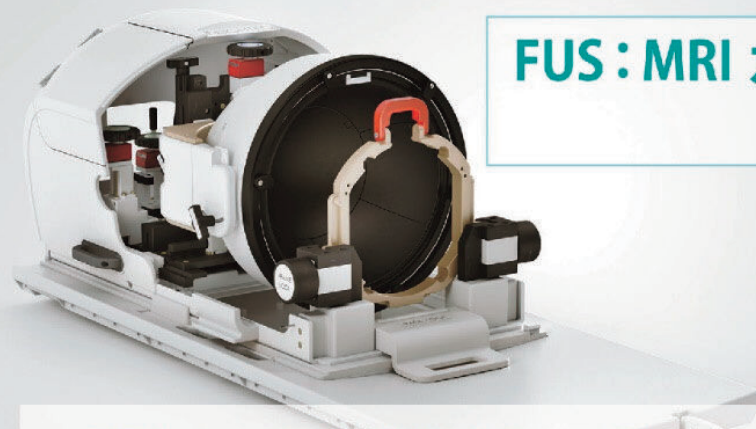


横須賀市神明町 1 番地 8
電話 0570-032630（ナビダイヤル）



横須賀市立総合医療センターでは、災害拠点病院を目指し、三浦半島初の屋上ヘリポートを設置しています。大規模災害発生時に拠点となる病院を目指します。

横須賀市立総合医療センターに導入する



FUS: MRI ガイド下集束超音波治療 (Exablate Neuro system)

FUS治療開始!
開頭せずに“ふるえ”を治療

三浦半島初のFUSの導入を行います。FUSはふるえの原因となっている脳深部のターゲットに超音波を集束させ、温度上昇による熱凝固によりターゲット部位を治療する方法です。これにより、本態性振戦やパーキンソン病による手のふるえに対して、開頭手術をすることなく、治療することが可能となります。



MRI3.0T (Magnetom Lumina)

写真：シーメンスヘルスケア社より提供

**より速い診断
早期治療!**

うわまち病院のMRI1.5Tに加え、MRI3.0Tを整備します。今まで以上に迅速で精度の高い検査を行うことが可能となります。高度医療機器共同利用としても地域の先生方のご診療に貢献できればと思います。



TrueBeam

Image courtesy of Varian Medical Systems, Inc. All rights reserved.

先進の精度でがんを治療

先進の精度でがんを治療！高精度放射線治療装置で、定位放射線治療（SRT）や強度変調放射線治療（IMRT）をはじめとした多様な照射技術が搭載された機器です。脳や頭頸部、肺、食道、肝細胞、直腸、前立腺、乳癌や子宮頸癌、白血病などあらゆる部位のがんの治療を、より短時間かつより高精度に行うことができます。

高度医療機器を一挙ご紹介します



ハイブリッド手術室 (ARTIS pheno EX)

写真：シーメンスヘルスケア社より提供

遂にTAVI登場!



三浦半島で初のハイブリッド手術室2室を有します。従来別々に行っていたカテーテルを用いた血管造影検査と血管内治療および外科手術を同じ部屋で組み合わせて行うことができます。これにより、治療や手術に要する時間の短縮が可能となり、患者さんへの身体的負担の軽減も図られます。心臓弁膜症の治療として、TAVI（経カテーテル大動脈弁治療）が行える機器を導入します。これにより、開胸せずに、また心臓を止めずに、人工弁を心臓に装着する低侵襲な治療が実現可能となります。

PET-CTが活躍します!

PET-CT (Biograph Vision)

写真：シーメンスヘルスケア社より提供



三浦半島で初のPET-CTの導入を行います。癌をはじめとした幅広い病気の早期発見、またアルツハイマー型認知症の診断に極めて有効であり、レカネマブによる予防が期待されます。